

福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう95

シロハラ

分類 スズメ目 ヒタキ科

住んでいる環境

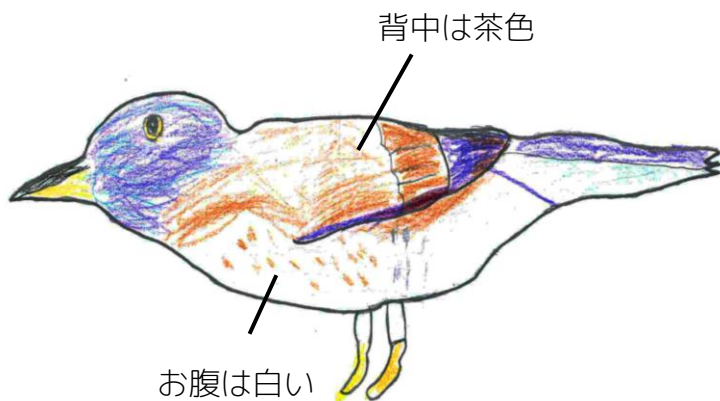
・林や木の多い公園など

見られる時期

・冬（10月～3月）

小鳥の森で見られる場所

- ・ネイチャーセンター周辺
- ・シジューカラ・カワセミ・ホオジロの小径



いき しゅんすけさん（7才）が描いてくれました。

12月 いきもの森予報

雪と鳥

12月になると葉を落とした冬枯れの木がますます多くなってきます。また、雪の降る日も増えてくる時期。野鳥が観察しやすい季節になります。

雪の日には、ツグミのなかまは地面でエサを探ることができなくなるため枝についた赤い実に集まりますし、ホオジロやアトリのなかまは雪の表面に落ちた草の種を食べにきます。あたり一面が白い雪におおわれていると、色とりどりの鳥の姿が目立ち、いつもよりも見つけやすくなります。



メジロ



ミヤマホオジロ

また、積もった雪は音を吸収するため、遠くの音が聞こえにくくなり、とても静かに感じられます。そのような時に野鳥が近くにいると、鳴き声をはっきりと聞こえるようになります。

雪の日こそ外に出て、野鳥の声に耳をかたむけ、かわいらしい姿を探してみてもいいでしょう。

冬ごし前に

今年の11月はあたたかさが残ったためか、森の中を歩いていると虫の姿をよく目にしました。陽のさした場所では、きれいな青紫色のはねのムラサキシジミや、はねのうらが銀色のウラギンシジミといったチョウ達がひなたぼっこをしている様子を見ることもできました。虫の冬のこしかたは種類によって様々ですが、この2種類のチョウは成虫のまま冬を過ごします。冬ごし前の元気な姿を見ることができた11月でした。



ムラサキシジミ

モズのはやにえ

モズという鳥はつかまえた獲物（えもの）を木などにさす「はやにえ」をします。小鳥の森でも、モズがトカゲをつかまえてすぐに、木の枝にさす様子を確認できました。また、冬ごしの場所を探していた途中でモズにおそわれたと思われるアオオサムシという昆虫のはやにえも見つかりました。最近の研究では、はやにえを食べることでオスがメスを呼ぶ「さえずり」の声ができることがわかったそうです。



モズ

スタッフだより

月夜の大霜（つきよのおおしも）

冬の朝、窓や庭の葉に白いレース模様の「霜」が降りることがあります。この霜、月夜の次の朝が特にきれいだと知っていますか？

太陽が沈むと、地面は昼間にためた熱を放出して冷えていきます。その時、地面近くの空気も一緒に温度が下がり、0度以下になると空気中の水分が凍りはじめます。霜とは、窓や葉のそばの水分が凍り、それらの表面に結晶したものなのです。晴れた月夜は雲がないので、地面の熱はさえぎられずどんどん放たれ、空気はぐんぐん冷えていきます。そのため、次の朝はいつもより見ごたえのある大霜が降りるのです。冬の月夜が楽しみになりますね。

（スタッフ くろさわ さちこ）

お山の大将活動報告

11月17日に第7回お山の大将あつまれ！を行いました。今回のテーマは「池掘り！」。外来生物のいる池とない池の生き物を観察したあと、実際に生き物の住める環境づくりとして、子どもたちに「池づくり」をしてもらいました。泥だらけになりながらも予想以上に深く掘ってくれたので、数日後にはしっかりと水もたまり、池らしい姿になっていました。活動終了後でしたが、池の生き物第一号?!のアズマヒキガエルが池のふちを歩いていました。冬をこす場所を探しにきたのでしょうか。時間はしばらく必要かもしれませんが、たくさんの生き物が住み着く池になれば良いと思います。



*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページで**カラー版**をご覧ください。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2019年12月号№406/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま